

人権高等弁務官が資金提供を求める

2019/01/16

国連人権高等弁務官事務所

バチエレ人権高等弁務官は、各国政府が人権に資金提供しなければ、この“大混乱の時代”において持続可能な平和・安全保障・開発は達成されないであろうと述べ、3億2,150万ドルの資金提供を訴えた。人権高等弁務官は、人権活動は人々の不満、紛争、不平等、苦悩、差別を防止するのであり、権利を維持しようとするすべての国に対する支援によって、多く難題は解決されるとした。人権高等弁務官事務所の今年度の活動計画の目標は、法の支配と責任追及の強化、市民活動の保護・拡大、差別撲滅、開発政策・計画への人権の組入れ、紛争状況における早期警戒・人権保護であり、不平等、気候変動、デジタル分野における人権、腐敗、移住、女性・若者・障がい者に関する活動を強化する予定であると述べた。世界人権宣言70周年の昨年、61カ国を含む83の寄付者から財政的支援を受け、前年比28%増の1億8,560万ドルの資金を得たが、2億7,800万ドル不足したと説明した。